

別紙2

「疫学研究に関する倫理指針」第3. 1 (2) <インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則>に基づく当院ホームページへの公開情報

研究機関名：呉共済病院

1. 研究課題名

高齢化率の高い地域におけるがん患者リハビリテーションの有用性
—急性期病院消化器外科病棟での取り組みを通して—

2. 意義、目的

H23年よりがん患者リハビリテーション料を算定している。当院は高齢化率が31%の地域にあるため、手術を受ける高齢者も多い。以上の背景をふまえ、消化器外科病棟にて全身麻酔で手術を受けたがん患者を対象とし、がん患者リハビリテーションを受けた群と受けなかった群に分け、術後初回歩行日、膀胱留置カテーテル抜去日、術後在院日数に変化があったか比較することでがん患者リハビリテーションの効果と今後の課題を明らかにする。

3. 研究期間

平成26年 1月 ～ 平成26年 2月

4. 対象

対象期間内に当院消化器外科病棟にて全身麻酔で手術を受けたがん患者

(※対象期間：平成23年9月1日 ～ 平成25年10月30日)

5. 方法

H23年9月～平成25年10月に消化器外科病棟にて全身麻酔で手術を受けたがん患者を対象とし、がん患者リハビリテーションを受けた群(平成24年9月～平成25年10月)と受けなかった群(平成23年9月～平成24年8月)に分ける。

電子カルテの記載から、疾患、年齢、性別、治療歴、ADL、術後初回歩行日、膀胱留置カテーテル抜去日、術後在院日数を抽出し両群を比較、考察する。

6. 倫理的配慮

本研究において患者データは、「介入研究」に該当し、「ヘルシンキ宣言」、「疫学研究に関する倫理指針」のガイドラインを厳守し遂行する。

研究対象になることを望まれない場合にはお知らせください。

7. 個人情報保護について

個人情報には研究責任者、研究分担者により管理する。個々の患者データは連結不可能匿名化とし、研究で利用したデータは研究以外には使用しないこととする。データはインターネットに連結しないパソコンで分析を行う。データは研究終了後に破棄する。

8. 問い合わせ・苦情等の窓口

呉共済病院 看護部 東9階病棟 斉藤友子 (Tel : 3930)